

生涯教育研修活動報告書

一般検査研究班

- 1 実施日時： 2021 年 4 月 27 日 18 時 30 分 ～ 19 時 30 分
- 2 会場： WEB 開催 点数： 基礎 — 10 点
- 3 主題： ここが大事！！ 尿検体の取り扱い方！
- 4 講師： 片瀬 優子（アークレイマーケティング株式会社）
- 5 協賛： なし
- 6 参加人数： 会員 112 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名
- 7 出席した研究班班員：藤村 和夫 室谷 明子 小関 紀之 柿沼 智史 佐々木 菜緒
渡邊 裕樹 小針 奈穂美 中川 禎己
- 8 研修内容の概要・感想など

今年度最初の一般検査研究班主催の研修会が 4 月 27 日に WEB 環境にて開催された。講師にアークレイマーケティング株式会社の片瀬氏をお招きし、「ここが大事！！尿検体の取り扱い方！」をテーマに尿検査の歴史・特徴、定性結果と沈渣成分の関係、尿試験紙の保存、定性検査の偽陽性・偽陰性等、幅広くご講演頂いた。尿試験紙は適切な保管がされていない場合、すぐに劣化をし、検査結果に影響を及ぼす。中でも、Glu は湿気の影響を受けやすく、偽陽性になりやすい。そのため、尿試験紙は湿気、直射日光、高温（30 度以上）を避けて密栓して保存することが大事であり、夏場で 30 度以上になってしまう場合は、冷蔵庫で保存をする事を勧めるが、効力のある乾燥剤とともに保存する事が重要であるとのことだった。このような試験紙の劣化等を確認するために、精度管理試料を用いて内部精度管理をしている施設は多いが、埼玉県内の全ての施設で行われているわけでは無い。この様なご施設では、定性検査を行う前に【Glu のパットの色調確認】をする事で、内部精度管理の一環になり得ると考えられた。

今回は新人や日当直担当者向けに企画した内容であったが、日常業務に役立つ内容が多く、新人～ベテランまでとても参考になる内容であった。

提出日 2021 年 5 月 10 日
文責：藤村 和夫